

植物幻想

十選

仏文学者 巖谷 國士

▷ 1

るせいもあるだろう。

◇

博物学の時代だった18世紀には、植物を正確に写しとる版画が流行した。「夜の女王」もそのひとつだが、「リンネの雌雄蕊分類法」というシリーズの副題を見てもわかるように、学術的に精密な描き方をしている。それでいてなにやら妖しくて異様で、超現実的にさえ感じられる。

私には「植物愛」のよと、じっと見つめていたうなものがあるらしい。くなる。現実でありながら子どものころは花や木とらじこか不思議に見える対話していた。いまでもその姿に、幻想を誘われる種のある植物に出会う

ソーントン編「フロラの神殿」より「夜の女王」



どちらかというところ、幻想の意図がなく、ある程度リアルに描かれていた花のほろが、じつは幻想的だが、じつは幻想的だ

た。その姿に、幻想を誘われる種のある植物に出会う

文化往来

東京・国立劇場で毎年恒例の前座公演が行われている(21日)まで。今年も当代の河原崎国太郎が16年前に六代目を襲名した折以来

「お染の七役」の再演で、メンバーもすっかり入れ替わった「前進座歌舞伎」の今を見ることが出来る。

元来、門閥外の歌舞伎俳優を主体に出発した前進座は、歌舞伎から現代劇

ら現代劇と呼ばれ、レパートリー

ら80余年の原点であること

「お染の七役」

4年、先復活上演歌舞伎の上

演じる上国太郎に

「夜の女王」を連想する人もいるだろう。(1800年、町田市立国際版画美術館蔵)

「夜の女王」を連想する人もいるだろう。(1800年、町田市立国際版画美術館蔵)

「夜の女王」を連想する人もいるだろう。(1800年、町田市立国際版画美術館蔵)

「夜の女王」を連想する人もいるだろう。(1800年、町田市立国際版画美術館蔵)

化

度もやった。そんなわけ、日ごろからジムでバベルを上げている。

◆◆◆古株、初出演は14歳

度もやった。そんなわけ、日ごろからジムでバベルを上げている。

度もやった。そんなわけ、日ごろからジムでバベルを上げている。

度もやった。そんなわけ、日ごろからジムでバベルを上げている。

度もやった。そんなわけ、日ごろからジムでバベルを上げている。

植物幻想

十選

日文学者 巖谷 國士

▷2

酒井抱一は日本の美術史、私のもっとも好む画家のひとりである。となく、そしてノスタルジックだ。いまはなき日本の自然風土を描いて、この植物画とくらべても別格の境地に行きついでいたことを思わせる。

代表作「夏秋草図屏風」



酒井抱一「白蓮図」

「白蓮図」は軸物の小品だが、いちど見たら忘れられない絵である。薄墨の葉の上にうかがひ、ただ一輪だけ描かれている花の白さ、寂しさ、清らかさといったらない。花弁の散りぎわの優さとともに、凜とした存在感を保つている。

抱一は大名の子に生まれるながら、市井の粹人絵師となって江戸琳派の道をひらいた大家だが、36歳で得度し、仏画にも独自の表現を示した。この絵でも、蓮は仏の花として、鎮魂のニュアンスをこめられている。左下の葉陰に小さな蕾が見える。モノクロに近い画面でこだけはずかすかに緑色だ。散りかける白蓮の命を、この蕾が受けついでゆくのだろう。(江戸後期、絹本墨画淡彩、細見美術館蔵)

た時のこと。

いきなり「キミ、もてるやろ?」と聞かれた。普通なら否定するところだが、緊張のためか「ま

ていて「どうや」と料理の味を尋ねられても単に

「おいしいです」とは言えない。最近見た映画、面白かったミステリーに

あるいは先生のご自宅で

ウオツカを飲みながら色々な話をうかがった。開高先生はサントリーと縁が深い作家である。

文化往来

16年かけ

インド

れ、黒人

南アフリカ共和国のアパルトヘイト(人種隔離)政策が完全に撤廃されて20年。獄中生活に屈する

ことなく人種差別

反対を訴え、昨年

末に他界したネルソン・マンデラ

元大統領の伝記映画が制作され

た。「マンデラー自由への長い道

」(24日公開)は、反アパルト

ヘイト運動の経験を持つ映画プロ

デューサー、アナント・シン氏が

なんて思いもしなかった。だが胸の奥底には、亡くなられた時の思い出がずっと残っていた。当時、様々な文芸誌から

治に追悼文の執筆依頼が

来た。私がいまだインタビ

ューし、話を整理するこ

とになった。

☆ ★ ☆

誰でも分かる名文

佐治は情に厚いが、社

「ウン」

「トリスね」

見直す衝撃を

植物幻想 十選

仏文学者 巖谷 國士

▷3

ナンシー派の代表者エリカ、自宅や工房に小規模な植物園を設けて観察と研究をつづけた。19世紀末のナンシー森からアルプスまで遠出して植物採集をしていたばか



エミール・ガレ「キノコ文花器」

林学校に、植物研究者・高島北海が留学してきたことも大きい。画家でもあった北海との交友を通じて、日本の花鳥風月画にも親しみ、植物の特徴をとらえつつ装飾化する方法を編みだした。多種多様な植物の表現が生まれたが、なかでもこの「キノコ文花器」には独特の幻想味がある。幾重にもかさねて埋めこんだ色ガラスの層がキノコを浮かびあがらせ、器の内部から光をあてるといって美しく映える。キノコはフランスでよく見かける種類だが、周囲の草にはどこか日本画の気分もまじる。光源によって浮きあがる映像に、東洋の灯籠や影絵に近いものを感じる。ちなみに正面から見ればキノコだが、反対側には蜘蛛の巣と野草が描かれている。全体としては森のなかで出会う幻想的な小世界だろう。

ガレの工房には「わが根源は森のなかにあり」という標語があった。世紀末に自然を再発見したアール・ヌーヴォーの、まさに根源に近い魅力をそなえた作品である。(1900年頃、個人蔵)

化

エ)「という活動を行っている。大阪を中心に街のビルを探訪し、研究者とは異なる視点で魅力を再発見する活動だ。

活動を始めたのは2008年。メンバーの職業

の建築にもそんな志向が見られる。たとえば大阪市内の御堂筋タイビル(64年)は、ステンレスを外壁全体にせいたくにし、角の丸い窓をあしひとつ手作業で木を曲げ

建物とあつて、メタリックな車体のような。その一方、内部の床や階段の手すりなどは現在ほど既製品化しておらず、職人が現場でひとつ手作業で木を曲げ

文化往来

継続刊行中の文芸誌としては日本で最も長い歴史を持つ「新潮」(新潮社)が創刊110周年を迎えて、今回「記念特大号」と銘打った6月号には、瀬戸内寂聴(92)から綿矢りさ(30)まで幅広い年齢層の作家の短編小説を掲載。このほか、大江健三郎(79)と古井由吉(76)の「言葉の宙に迷い、カオスを渡る」と題した対談、「小説

つけると写真を撮り、許可を得て中を見せってもらうこともしばしば。小冊子「月刊ビル」最も重要なのは、多くの人に関心を持ってもらうことだ。そこで手始めに、特に階段が美しい西谷ビル(53〜65年)の一室を借り切って一般開放するイベントを開いた。カフェを開き、音楽ライ

「新潮」が未来
家の転機
一篇の小説
シーなど
「100年
自らこと
て、今回
「新潮」
のかと感
を自指し
を指し
「小説
そつし
若い女性が多かつた。その後も様々なトを開催。かつて0人のホステスをを。巨大キャバレーが千日前近くの味(55年)では、シ舞台を使って益踊くのが毎夏の恒例行っている。
2010年から「刊ビル」という小発行し始めた。創

植物幻想 十選

仏文学者 巖谷 國士

▷4

時代を一気にさかのぼり、紀元前17世紀の百合の絵を見よう。地中海の南にうかがふサントリーニ



「アクロティリ遺跡の壁画(春のフレスコ)」(部分)

島のアクロティリ遺跡で、1967年に発掘された民家の壁画である。黒白赤が美しい。

古代ギリシア文明より千年も早く、この島には独自の文明が栄えていたが、前1625年ごろ(異説もある)に火山の大爆発がおこり、溶岩流や津波によって、都市のすべてが壊滅してしまった。

カルデラが陥没し、島の大半が海中に沈んだが、この小都市は地上に残り、厚い火山灰に覆われたまま、3600年以上も眠っていたのである。

アクロティリの家々にはすばらしい壁画が描かれていた。花を描く絵も多く、見るとおり色も鮮明に残っている。岩場に

生える百合の花の赤に、茎の黄色。空に舞う燕の黒白赤が美しい。

それにしても、なんと自由な表現だろう。同時代のエジプトどころか近くのクレタ島の壁画とくらべても、硬い様式化が見られず、どこかモダンにさえ感じられる。

なによりも、当時の人々がどのように自然に親しみ、どのように野の花を愛でていたのかを想像させる絵である。

大災害によって失われたこの文明は、自然とあわせに共生することができていたのかも知れないと思われたりする。

(アテネ、国立考古学博物館蔵)

文化往来

と完璧な

「社会

影響を及

エフゲニー・キーシンのピアノ

が円熟味を増している。神童、天才と呼ばれてきたロシア出身の早熟的のピアノリストも

42歳。4月13日か

キーシン来日

から5月4日まで大阪や東京を回った来日公演では、シュペルトの長大な「ピアノソナタ第17番」と、スクリャービンの高度な技巧を要する「ピアノソナタ第2番」12ある大人の練習曲」を披露。集中力の強さ

このほ

夏は北極海、冬は南極海まで。正月を自宅で過ごせたのは1度しかない。砲手として仕留めた鯨は約4000頭。1日でミンククジラ22頭を捕ったのは当時の日本記録だった。1頭だけシロナガスクジラを捕ったこと

がある。明日から禁漁という日、あまりの巨体で

実際よりずっと近くにいると誤り、1発目は狙い

を巡り、砲手として鯨をモリで撃っていた。砲手から転じたホエールウオツキングの案内人は、世界でも珍しいはずだ。

かになったのは終戦後、20代になってから。大手の捕鯨会社に入社した。

の航海を経てすぐ砲手に抜てきされた。見習いとして数年、宮城県塩釜の陸上訓練所で学んだ。電

動で動く練習用砲台に乗

「末弘丸」に第2

見込めない判断

ったが、捕鯨には

たのを機に佐喜

り、漁師に戻った。

6年、勤務先を

6社が捕鯨部門

のを機に佐喜

ったが、捕鯨には

見込めない判断

化

を巡り、砲手として鯨をモリで撃っていた。砲手から転じたホエールウオツキングの案内人は、世界でも珍しいはずだ。

かになったのは終戦後、20代になってから。大手の捕鯨会社に入社した。

の航海を経てすぐ砲手に抜てきされた。見習いとして数年、宮城県塩釜の陸上訓練所で学んだ。電

動で動く練習用砲台に乗

「末弘丸」に第2

植物幻想 十選

仏文学者 巖谷 國士

▷5

富士山を描いた絵ならに浮世絵の影響を窺わせそれこそ山ほどある。とるが、藤のほうは違つて、くに北斎や広重以来、江戸博物画を思わせるリアル戸後期から明治にかけてな表現で、のどかな山海のものが多いけれども、の景を覆い、ほとんど主外国人の、しかも女性画 役の座を奪っている。

家の作品となるときめずらしい。

マリアンヌ・ノース「富士山と藤」

富士に藤というとりあ花図などと異なり、繊細わせもおもしろい。言葉な房を柵から垂らすごこの遊びの意図はないにしろか、野性の力で風景をても、植物を配するなら圧倒するかのようだ。

松、少なくとも桜あたりが常套だろうからだ。マリアンヌ・ノースは

富士は富士らしくパタギリズ女性。ひろく世界を旅して各地の風物、と

たとえば鈴木其一の藤

化

中学期代から俳句を詠み始め、1975年に千葉の県立高校の国語教諭になって数年後に川柳と出会った。地元のパウ



くにめずらしい植物を描きつづけた。藤もまた中国原産のもので、当時はエグゼティクな画題だ

つたのだらう。日本を訪れたのは明治の初期、1875年秋で富士に感嘆したのち、京都に滞在して風物を受でていたが、当地の寒さに耐えられず、冬のうちに出国した。

だから初夏の日本の藤を実際に見たわけではなく、想像で描いている。不思議な違和感と幻想味は、その点にも由来しているのだらう。(1876年頃、油彩、板、王立キユー植物園蔵)

れから10年近かった。今川先生の紹介で台湾川柳会の前身である「台北川柳会」と会報の取りまきもよつと

文化往来

室町時代の能役者、観世元雅の作品で長く埋もれていた能「吉野」が6月15日、京都市の京都観



世会館で復年ぶり「曲上演され 吉野琴の『写真山』。平試演。元雅 花をめでは能を大成と、琴をした世阿弥 彼女たち

の長男。したが、「野天人」

会があったと聞く。ただ日本との目立った交流はなかったようだ。中華料理囲み句会 台湾との海を越えた交流が本格的に始まったのは05年3月のことだ。旅をしながら句を詠む吟行の企画で、東萬川柳会が初めて海外に出掛けようという事になった。文は「ゴミ収集車が」

植物幻想 十選

仏文学者 巖谷 國士

▷6

絵本の世界でも花や木への関連からして当然はおなじみだ。森とメル



クライドルフ「花のメルヘン」より
「夜のぬすびと」

化

見れば「ガラクタ」と思われるものの価値がいつの日か理解されると信じて、これまでやってきた。

に据え、擬人化して描いたものがおもしろい。グランヴィルなどの先例も忘れがたいが、子ども向きの植物絵本となるとやはり、スイスのクライドルフが代表者だろう。19世紀末に出た処女絵本「花のメルヘン」はすばらしい。一冊の物語の挿絵ではなく、ページごと

に別の花を登場させて詩を添え、不思議の世界をくりひろげる。絵がなんともいえずかわいい。「夜のぬすびと」はたんにぼの綿毛を盗んで帽子にしたり、ランプにしたりする。真っ白な綿毛の驚いた顔、綿毛を失った花托の渋い顔がいい。暗い夜にうかぶ綿毛ラン

プの光の美しさ。繊細さとユーモアを兼ねそなえた独特の表現である。クライドルフはベルンに生まれ、ミュンヘンで学んで画家になったが、勤められて出したこの絵本がドイツ語圏で評判になり、その後も花や虫を擬人化する絵本を描きつづけた。当時の自然志向とカラー印刷の発達を背景に、絵本の黄金時代を担った作家である。自然物の擬人化はアニメ

98年刊、明治学院大学図書館蔵

荷物を引っ張るための綱のようなものを指す。私が農家の方に聞くと、これらの民具はすべて捨てつもりだという。のある道具なのではないか」と直感。その場で「譲ってほしい」と直訴した。「若いのに変わった人もあるな」と不思議がられる

文化往来

ピアノリストの伊藤恵が8年がかりのシューベルト作品集のCD録音を完成させつつある。4月29日の紀尾井ホール(東京・千代田)

伊藤恵、ベートー

での演奏会では、自身初演となるピアノソナタ第18番「幻想」を披露。最後のソナタ第21番とともに今後収録し、シリーズ6枚目のCDとして来年4月に出す。これで同シリーズに区切りを付ける。伊

農家の場合はメーカーが製造した農機具が多く入るようになっていたが、山間部にはそんな高価な機械はまだ少なかった。その分、民具にも農家ごとに工夫がみられた。

例えば、たい肥として使う糞尿を運ぶための道具、小豆などの豆をたたいてすりつぶす道具、米を炊く釜を置く「釜敷き」などは、秋田の農家でよく

藤は20年ノ独奏曲ベルトに

てのペー 伊藤は 国際音

生きるための知識が感じられる。こうして民具をうち、私の関心はあった映画の「パトヤ」や「ラベル、食器の活用数々や農業日誌、贈答などにもこれらの注をしてみると、当時生活実態が分か

植物幻想

十選

仏文学者 巖谷 國士

▷7

バラを描いた絵のようである。ただし絵だとい
に見えるが、じつは写真。とてもまちがいではない

らである。

合田佐和子は植物なら
バラを好んで描く。19
60年代に颯爽と登場
し、長くさまざまなジャ

ンルを試みてきたアーテ
ィストだが、絵でも写真

合田佐和子「Rose」

かもしれない。少なく
とも写真家の撮りたい
の撮りたいが重なって渦
わゆる「写真」ではな
く、画家が

絵画制作の誘われ、奥へ奥へと引き
一環としてこまれてゆく。ぼんやり
撮ってきた見える隘路の最奥には、
接写連作中遠い記憶がひそんでい
一枚だけかのようにだ。かつてバラ

の蕾の誕生した瞬間の一
点へと、あるいは世界の
起源そのものへと、目が
近づいてゆくような感覚
さえある。

柔らかな花びらは透明
感をたたえていながら、
やや肉感的でもあり、花

心の洞窟が人体の内部を
連想させもする。いずれ
にしても、バラはもはや
日常の花壇に咲いている
あのバラではない。

写真は文字どおりに
「真(現実)」を「写」

すものではない。独特の
接写によってここに出現
しているのは、超現実の
幻をあらわすバラの「絵」
である。(1994〜2
010年、作者蔵)

文化往来

ワークショップや実演を通して
演劇振興をはかる日本劇作家大会
が9年ぶりに開かれる。受け入れ
先は兵庫県豊岡市
で、会期は6月12

「演劇を地方に

日から4日間。4月にオープンし
た城崎国際アートセンターの船出
を記念する大会となる。

運営の主体となる日本劇作家協
会(坂手洋二会長)は1994年
の北九州大会以来、盛岡、札幌、
美咲の公

熊本、愛
催してき
がちな演

のが狙い
劇作家た
会議場

る施設に
は宿泊料
用できる

あり、公
割引料金

と困るので、す
応じないといけ
道管の継ぎ目やフ
間から木の根が入
水漏れや詰まりに
っているケースが

ひしゃくやバケツでくみ
出していたが、今はポン
プがあるので便利になっ
た。水道の先端は川につ
ながら、余った水は放流
されていく。

宇土市の郷土史家、高
木恭二氏によると、江戸
時代には全国各地で水道
が引かれたという。しか
し土管や木、竹を使って

いたところが多く、水道
管の修理や取り換えに手

りに場所を深
水漏れ、音頼り
水漏れのときは

化



屋敷を構えたのだが、海
抜が3〜5メートル低い。井
戸を掘っても水量は少な
く、塩分が混じって飲み
水には不向き。後に環境
省の名水百選に指定され

ピンク色をした馬門石が
採れる。およそ9万年前、
阿蘇山の爆発で流れ出
た火砕流が冷えて固まっ
たものとされる。5〜7
世紀にはすでに近畿地方

その馬門石を轟泉水道
に利用した。四角の管に
するのだが、まず細長い
石を凹型に削って樋管と
いう水路を造り、上に石
板でフタをする。ひとつ

植物幻想

十選

仏文学者 巖谷 國士

▷8

大震災以来、北斎が気が津波につながるだけになりだした。荒波の絵はない。自然のもつ圧倒



葛飾北斎「芥子」

的なエネルギーに、これらは「生きた自然」とも敏感な画家はなかつたとも思えるからだ。

自然ばかりか人間も社物と同様、自然の絶えざる変化の過程にある。花も鳥も虫も獣も人も、等

も軽々とこなしてしまう天才だったが、群をぬいていた資質のひとつに、動きの表現があった。

花を描いた錦絵のなかで、とくに有名なのがこれだろう。芥子は動いている。風に揺れ、しない、花びらを震わせている。

構図自体がダイナミックだ。蕾から花の開ききるまでの過程さえ、一面に描きおかせている。

西欧では長く静物画(原語では「死んだ自然」)の題材だった花を、こち

らには「生きた自然」ともいえ、「動」物画にして

いる。ここでは植物も動物と同様、自然の絶えざる変化の過程にある。花も鳥も虫も獣も人も、等しく自然に属するとい

う。芥子は阿片のとれる植物なので、いまでは栽培を禁じられているが、当時は観賞用に育てられていた。この芥子はしかし観賞用に見えない。抒情も感傷もなく、野生を蘇らせている花の絵だ。

90歳まで生きて描いたこの「画狂人」自身、体内に自然のエネルギーを蓄えていたのだろう。(1830〜44年頃、大判錦絵、東京都墨田区蔵)

再発する確率は90%、3年後の生存率は5%と言われたが、笑いが生きる支えになった。

がんの治療を終えた

が

文化往来

が出し切

日本を代表するジャズピアニスト 講座開演

の大西順子(47)が4月、マンウ。大西順子が直接

を指導する講座

「大西順子ピアノ

ラボ」を川崎市内に開講した。2 と指の伸

000年からの長期休養を経て07 ング、ピ

年に活動を再開したが、12年末の 核となす

ライブで引退を表明。今後は後進 直接指導

のピアニストの育成に力を注ぐ。 完全予約

「体が力が入りすぎて、いい音 人まで。

初独演会では定員を大 たかったからだ。

幅に上回る150人もの 独演会では毎

お客様が来てくれた。そ を披露する。「」

結構多い

のソツを

講座開演

マンウ。大西

大西順子が直接

と指の伸

ング、ピ

核となす

直接指導

完全予約

人まで。

初独演会では定員を大 たかったからだ。

独演会では毎

お客様が来てくれた。そ を披露する。「」

化

症で全身のしびれは今も

続く。日常生活にも不自

由するが、年に50回ほど

高座に上がる。ただし、

プロの嘶家ではない。名

三味の毎日。就職後は落

語どころではない日々が

続いたが、27歳から全日

本社会人落語選手権に出

場するようになった。

が

植物幻想

十選

▷9

仏文学者 巖谷 國士

プロスフェルトは特異式カメラによる接写を駆
な写真家だった。という 使用して、さまざま植物
よりも、特異な植物学者の細部を撮り、研究の資
だったというべきかもし 料と称していた。

世末の旧

プロスフェルト「芸術の原形」より「トチノキの花」



細部を拡大された植物の視覚芸術にあらわれる
たちは、それぞれ思いがけない相貌をあらわす。
葉や芽の先が踊るバレリーナに見えたり、モスク
の塔に見えたりする。まさに驚異の映像である。
この「トチノキの花」にしても、怪物の浮彫を
ほどこしたトーテムポールを思いおこさせる。な
にやら幻想的でユーモラスで、これを植物だと思
う人は少ないだろう。
それらをまとめた写真集につけた題名、「芸術の原形」というのも特異
である。プロスフェルトは長い研究の結果、多く
0個ほど作る。常連客が多いが、思わぬ購入も
車で走っていると、道行く車が回り込み何事かと
思う。止まって聞けば、まだ販売していることを

の視覚芸術にあらわれる形態のパターンが、じつはあらかじめ植物の細部にふくまれているという神秘的な学説(?)を打ち立てていた。
そんなバカなと思うのが普通だろう。だが写真というものが人間の目とは違い、現実のなかの超現実をとらえるメディアだということ、あらためて思いおこさせる貴重な資料になった。
自然には理屈をこえたアナロジ(類似)がひそむ。植物の世界はその意味でも魅惑的である。(初版は1928年、コロタイプ、紙、明治学院大学図書館蔵)

文化往来

おしむ

現代社

日本ですべて100万枚以上を売り上げたアルバムはシンガー・ソングライターの井上陽水が1973年末に出した「氷の世界」だった。65歳になった陽水が、同アルバム収録曲を中心としたライブで全国を回っている。23日、東京のNHKホールに登場した陽水は、まず3曲を披露した後、「あかずの踏切り」から順に全13曲をい

井上陽水、40年

ろのを危ぶみようやく教
えてくれた。重みを感じ
た。「ロバのパン」の誕生
は1953年。当初は「ビ
夕食パン」という名称で
販売。戦後の食糧難で脚
気になる子供が多く、ピ
タミン類が小麦粉に含ま
れているということから
人気を集めた。

「氷の世界」だっ
た。65歳になった陽水が、同アル
バム収録曲を中心としたライブで
全国を回っている。23日、東京の
NHKホールに登場した陽水は、
まず3曲を披露した後、「あかず
の踏切り」から順に全13曲をい
ろのを危ぶみようやく教
えてくれた。重みを感じ
た。「ロバのパン」の誕生
は1953年。当初は「ビ
夕食パン」という名称で
販売。戦後の食糧難で脚
気になる子供が多く、ピ
タミン類が小麦粉に含ま
れているということから
人気を集めた。

運営は「ビタマ

連鎖店本部」とい

私はその代表だ。

というのは今で

おいては珍しい

店ほどの規模を

化

秘伝のパワダー

京都では1個120

円。あんこやシヤムなど

を具にし、素朴ながら独

特の風味がある。あんこ

まだ販売していることを

うに仕上げるのだが、こ

巡る思いを懐かしそうに

話す姿を見ると、とても

励みになる。
蒸しパンは表面の皮が

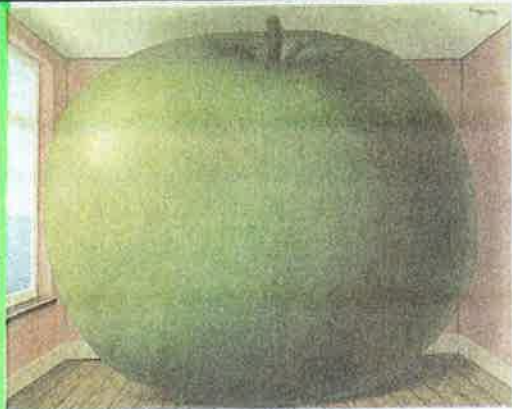
愛称が名称に

人気とともに

植物幻想 十選

仏文学者 巖合 國士

▷10



© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014

マグリット「聴取室」

林檎りんごはありふれた果実の禁断の木の実はにじまなのに、すぐれて象徴的、ウィルヘルム・テナの意味をもつ。少なくともルの矢に射られたのも、も欧米ではそぞだ。聖書 ニュートンに引力を発見

させたのも林檎である。屋を占拠している。風船のようにふくらみつつ、林檎を描いたのはそんな事情からかもしれない。逆情にあらゆる象徴的な意味を抜き去って、ただの林檎にしてしまうこと。しかも個別の林檎を表現するのではなく、のっぺりした緑一色のオブジェとして提示すること。

ひとめ見て林檎とわかる記号のようなオブジェは、山高帽紳士の顔の前に浮いていたり、仮面をつけていたり、「これは林檎ではない」と書きこまれていたりして、まさに神出鬼没である。

「聴取室」ではその林檎がなぜか巨大化し、部屋を占拠している。風船のようにふくらみつつ、林檎を描いたのはそんな事情からかもしれない。逆情にあらゆる象徴的な意味を抜き去らされている。意味内容が抜き去られている。この不思議なオブジェは、かえってさまざまな意味作用をよびおこす。

題名も曖昧で、盗聴ないし告白のニュアンスをふくみ、どことなく「秘密保護」にかかわるかのようだ。林檎はなんにもいわないけれど、これが現代にふさわしい絵であることはたしかだろう。

(1958年、油彩、カンバス、38×46センチ、チューリヒ美術館蔵)

つげ本番でやらせてもらっている。数年前、来日したジャッキーに「アクションシーンもうちょっと短くならない？」と聞

★ ☆ ★

もともと俳優志望

ももとは声優になるつもりではなかった。俳優を目指しテレビ映画や

「古事記」「万葉集」などの古典から大江健三郎、石牟礼道子ら現代作家の小説、エッセー、評論までを収める「日本文学全集」(全30巻)が河出書房新社から出版される。2007、11年に刊行され、話題を集めた「世界文学全集」(全30巻)と同じく、作家・詩人の池澤夏樹が個人で編集する。

「古事記」を池澤自身が現代語訳している。我がもの

はありえないことだ。意気込んで初収録に臨むと、スタジオには先輩ばかりで若手は私一人。マイクの前でトチると先輩方からため息が漏れ、大御所ディレクターの春日正伸さんからどなられる。台本とキャラクターの口の動きの両方を同時に見ることができず、声が遅れてしまうのだ。朝

★ ☆ ★

「酔拳」が始まる

さらに数年して

春日さんから声が

それが、日本

979年に劇場公

た映画「ドラクエ

「酔拳」テレビ

の日本語吹き替え

シーン

10分も立ち回りが

が、ジャッキーの

えは特別だ。アク

ション

シーンがやたらと

長い。

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は

シャッキー

作

品

は</